



SVMでのBranchCacheの無効化または有効化 ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

SVMでのBranchCacheの無効化または有効化	1
ONTAP SMBサーバーでBranchCacheを無効化または再有効化すると何が起こるかを学びます	1
ONTAP SMB共有でBranchCacheを無効または有効にする	1

SVMでのBranchCacheの無効化または有効化

ONTAP SMBサーバーでBranchCacheを無効化または再有効化すると何が起こるかを学びます

以前にBranchCacheを設定したものの、ブランチオフィスのクライアントでキャッシュコンテンツを使用しないようにしたい場合は、CIFSサーバーでキャッシュを無効にすることができます。BranchCacheを無効にした場合に何が起こるかを知っておく必要があります。

BranchCacheを無効にすると、ONTAPはハッシュを計算しなくなり、要求元のクライアントにメタデータを送信しなくなります。ただし、ファイルアクセスは中断されません。その後、BranchCacheが有効になっているクライアントがアクセスしたいコンテンツのメタデータ情報を要求すると、ONTAPはMicrosoft定義のエラーで応答します。これにより、クライアントは実際のコンテンツを要求する2番目の要求を送信します。コンテンツ要求への応答として、CIFSサーバはStorage Virtual Machine (SVM) に保存されている実際のコンテンツを送信します。

CIFSサーバーでBranchCacheを無効にすると、SMB共有はBranchCache機能をアドバタイズしなくなります。新しいSMB接続でデータにアクセスするには、クライアントは通常のSMB読み取り要求を発行します。

CIFS サーバーではBranchCacheをいつでも再度有効にすることができます。

- BranchCacheを無効にしてもハッシュストアは削除されないため、要求されたハッシュがまだ有効であれば、BranchCacheを再度有効にした後でハッシュ要求に応答するときに、ONTAPは保存されているハッシュを使用できます。
- BranchCacheが無効になっている間にBranchCacheが有効になっている共有にSMB接続を行ったクライアントは、その後BranchCacheが再度有効になってもBranchCacheサポートを受けられません。

これは、ONTAP が SMB セッションのセットアップ時に共有の BranchCache サポートをアドバタイズするためです。BranchCache が無効になっている間に BranchCache 対応共有へのセッションを確立したクライアントは、この共有のキャッシュされたコンテンツを使用するために切断して再接続する必要があります。



CIFSサーバでBranchCacheを無効にした後、ハッシュストアを保存したくない場合は、手動で削除できます。再度BranchCacheを有効にする場合は、ハッシュストアディレクトリが存在することを確認する必要があります。BranchCacheが再度有効化されると、BranchCache対応の共有はBranchCache機能を通知します。ONTAPは、BranchCache対応クライアントから新しいリクエストがあるたびに新しいハッシュを作成します。

ONTAP SMB共有でBranchCacheを無効または有効にする

ストレージ仮想マシン (SVM) 上でBranchCacheの動作モードを `disabled` に変更することで、BranchCacheを無効にすることができます。動作モードを変更して、共有ごとにBranchCacheサービスを提供するか、すべての共有に対して自動的に提供するかを選択することにより、BranchCacheをいつでも有効にすることができます。

手順

1. 適切なコマンドを実行します：

状況	次に以下を入力します...
BranchCacheを無効にする場合	<pre>vserver cifs branchcache modify -vserver vs1 -operating-mode disable</pre>
共有ごとにBranchCacheを有効にする	<pre>vserver cifs branchcache modify -vserver vs1 -operating-mode per-share</pre>
すべての共有に対してBranchCacheを有効にする	<pre>vserver cifs branchcache modify -vserver vs1 -operating-mode all-shares</pre>

2. BranchCache 動作モードが希望の設定になっていることを確認します： `vserver cifs branchcache show -vserver vs1`

例

次の例は、SVM vs1のBranchCacheを無効にします。

```
cluster1::> vserver cifs branchcache modify -vserver vs1 -operating-mode  
disable  
  
cluster1::> vserver cifs branchcache show -vserver vs1  
  
Vserver: vs1  
Supported BranchCache Versions: enable_all  
Path to Hash Store: /hash_data  
Maximum Size of the Hash Store: 20GB  
Encryption Key Used to Secure the Hashes: -  
CIFS BranchCache Operating Modes: disable
```

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。